



〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町11番地  
横須賀市港湾部

電話：046(822)8439 FAX：046(826)3210

URL：[http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/  
6620/minato/kikaku/](http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/6620/minato/kikaku/)

E-mail：[pp-ph@city.yokosuka.kanagawa.jp](mailto:pp-ph@city.yokosuka.kanagawa.jp)



※このパンフレットは、2,000部作成し、1部あたりの印刷費は95円です。

# 横須賀港

## PORT OF YOKOSUKA



2019年(平成31年)3月  
横須賀市



横須賀港は、三浦半島の東側、東京湾の入口に位置し、北は横浜市との境の夏島町から南は野比海岸までの港湾区域(水域)約5,530ha、臨港地区約283ha、海岸線延長約61kmの港湾です。横須賀港は、追浜、深浦、長浦、本港、新港、平成、浦賀、久里浜などの13の地区があり、横須賀市が港湾管理者となっています。



### ① 追浜地区



自動車産業、各種研究所、造船所等の企業が立地し、完成自動車等の輸出入等が行われています。

### ② 深浦地区



各種工場、造船所が立地しています。また、平成18年度に深浦ポートパークを整備しました。

### ③ 長浦地区



戦後最初に整備が進められた地区で、捕鯨船の基地として栄えました。現在は、各種工場や倉庫が立地しているほか、海上自衛隊・水軍が利用しています。

### ④ 本港地区



1865年(慶応元年)、この地に横須賀製鉄所が建設され、港湾としての横須賀港の歴史が始まりました。現在は、主に海上自衛隊・水軍が利用しています。

### ⑤ 新港地区



横須賀港唯一の規模を持ち、SOLAS条約(海上における人命の安全のための国際条約)に基づく港湾施設保安計画に対応した国際埠頭です。横須賀の中心市街地に隣接し、猿島や三笠公園などの観光地にも近い立地となっています。水深の深い係留施設があるため、完成自動車の輸出入・冷凍マグロの輸入などが行われています。

### ⑥ 平成地区



「海辺の複合リゾート都市」を目標として、職・住・遊・学の機能を融合したまちづくりを進めています。また、大規模地震に備えた耐震強化岸壁を整備した地区です。

### ⑦ 大津地区



背後に住居、商業施設が立地しています。こうした背後地の安全・安心を図るため、高潮対策として護岸整備を行っています。

### ⑧ 馬堀地区



平成7、8年の台風により馬堀海岸一帯が浸水の被害を受けたため、親水性を備えた高潮対策護岸の整備を行いました。

### ⑨ 走水地区



自然の海浜があり、春はお花見が楽しめます。海浜背後には、横須賀製鉄所ゆかりの走水水源池があり、「ヴェルニエの水」を汲むことができます。

### ⑩ 鴨居地区



自然豊かな観音崎公園があります。また、観音埼灯台や観音崎レーダー局(旧東京湾海上交通センター)も立地し、東京湾の安全を支えています。

### ⑪ 浦賀地区



江戸時代から中継貿易港として栄えた歴史ある港です。平成27年度に西浦賀みなと緑地の一部が整備完了し、プロムナード機能を確保しました。

### ⑫ 久里浜地区



ベリー提督が上陸した開国の地です。東京湾の入口に位置し、船で混雑する浦賀水道航路を通らずに入港でき、耐震強化岸壁を整備した地区です。横浜横須賀道路(佐原IC)からも近く、首都圏各地からの物流アクセスが便利な地区です。房総半島へのフェリーのほか、大島(伊豆諸島)への定期航路があります。

### ⑬ 野比地区



約5km(港湾区域内は約2km)の砂浜が広がっています。海岸侵食による背後地への被害を防ぐために、離岸堤等の整備を進めています。

横浜賀港周辺  
名所紹介  
PORT OF YOKOSUKA

人々と海がふれあえるウォーターフロントとして、横浜賀港の海岸線にはヴェルニー公園から観音崎公園までの海沿いの10kmを結ぶ「うみかぜの路」(海と緑の10,000mプロムナード)が整備され、海辺の憩いのスポットが多くあります。

① ヴェルニー公園



フランス式庭園様式を取り入れた公園です。海上自衛隊・米軍の艦艇を一望でき、旧海軍の戦艦「陸奥」の主砲が設置されています。潮風とともに散歩を楽しめる「うみかぜの路」の起点です。

② 記念艦三笠



1902年(明治35年)にイギリスで建造された戦艦です。日露戦争において、東郷平八郎が乗艦する連合艦隊の旗艦として活躍しました。三笠公園内に保存されています。

③ 猿島



東京湾唯一の自然島で、海水浴、バーベキュー、釣り、散歩などが楽しめます。新三笠桟橋から渡船が出ています。(P7参照)

④ 臨港道路小川三春線沿道緑地



幅10mの遊歩道には、緑や季節の花が植えられ、憩いを感じることができます。

⑤ うみかぜ公園



バーベキューが楽しめる芝生広場、スケートボードやマウンテンバイクなどが楽しめるスポーツ広場、親水護岸などがあり、イベント会場としても利用されています。

⑥ 海辺つり公園



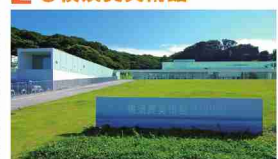
四季を通じて海釣りができ、芝生や遊具が整備され、家族連れで楽しめる公園です。

⑦ 馬堀海岸高潮対策護岸



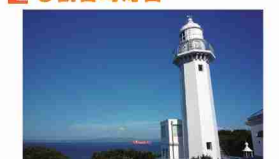
高潮による被害を防止するための護岸です。静穏時には、親水施設として、護岸上部を歩けるプロムナード構造となっています。

⑧ 横浜賀美術館



観音崎公園の中にあり、近くで海水浴や散歩も楽しめます。また、周囲には灯台や砲台跡などもあり、自然と歴史を感じながら、ゆったりとした時間を過ごすことができます。

⑨ 観音崎灯台



日本初の洋式灯台で、内部の見学が可能です。初代は、フランス人技師フランソワ・レオンス・ヴェルニーらが設計し、1869年(明治2年)に初点灯しました。大正時代に2度の地震によって倒壊し、現在は3代目となります。

⑩ 西浦買みなと緑地



ペリー来航・威風丸出航など歴史の舞台となった浦賀の歴史を感じながら散歩を楽しむことができるプロムナードです。

⑪ 浦賀の渡し船



浦賀の東西を結ぶ渡船は、奉行所が浦賀に置かれてまもない1725年(享保10年)ごろから始まる長い歴史があり、ボンボン船の愛称で親しまれ、浦賀のシンボルにもなっています。

⑫ ペリー記念碑



1853年(嘉永6年)、当時鎖国中だった江戸幕府に開国を求めたため、ペリー提督が黒船4隻を率いて久里浜海岸に上陸しました。碑文は伊藤博文により書かれました。

横浜賀港と  
首都圏  
PORT OF YOKOSUKA



- 高速・有料道路(供用中)
- - - 高速・有料道路(計画中)
- 主要国道
- 新幹線
- ..... 都県境
- ..... 港湾区域
- インターチェンジ
- ▲ ジャンクション
- 駅
- ◎ 県庁所在地

横浜賀港は、首都圏の物流を支える東京湾の入口に位置し、高速道路網の整備により首都圏各地からのアクセスも向上しています。南関東の主要な都市の多くが、横浜賀港から60km圏内にあります。

東京湾中央航路(浦賀水道航路)は、世界でも有数の船舶の往来で混雑する海域です。このため、航行する船には12ノット(時速約22km)以内という速度規制があり、東京湾の入口から湾奥まで約3時間を要します。しかし、浦賀水道航路を通らずに寄港できる久里浜地区や浦賀地区から陸上交通に切り替えれば、約1時間で都心まで行くことができます。

横浜賀港は、こうしたメリットを活かした首都圏における内貿ユニットロード<sup>\*</sup>や海を利用する人々の交流の拠点づくりを目指しています。

<sup>\*</sup>内貿ユニットロード：船舶で輸送する貨物をコンテナやパレット等の容器に収納し、フェリー等により効率的に海上輸送すること。



横須賀港で取り扱われる貨物は、自動車(完成品及び部品)とフェリー貨物が大部分を占め、その他に砂利・砂などがあります。水産品としては、冷凍マグロの取り扱いが多く、全国有数のマグロ水揚げ港となっています。

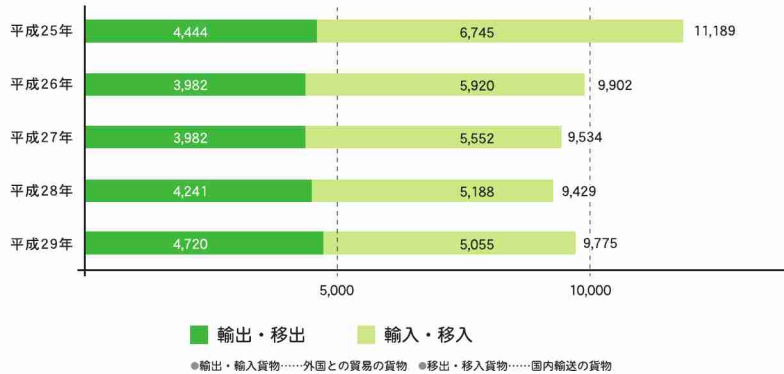
### 外航・内航別入港船舶隻数の推移 (単位: 隻)



### 船舶乗降人員 <平成29年>

乗込: 400,519人 上陸: 480,746人 計: 881,265人

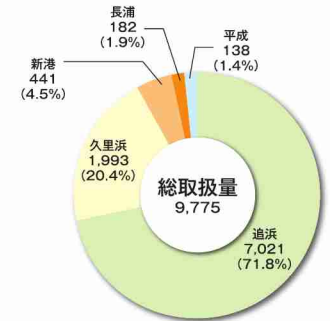
### 海上出入貨物量の推移 (単位: 千トン)



### 海上出入貨物量地区別取扱表<平成29年> (単位: 千トン)

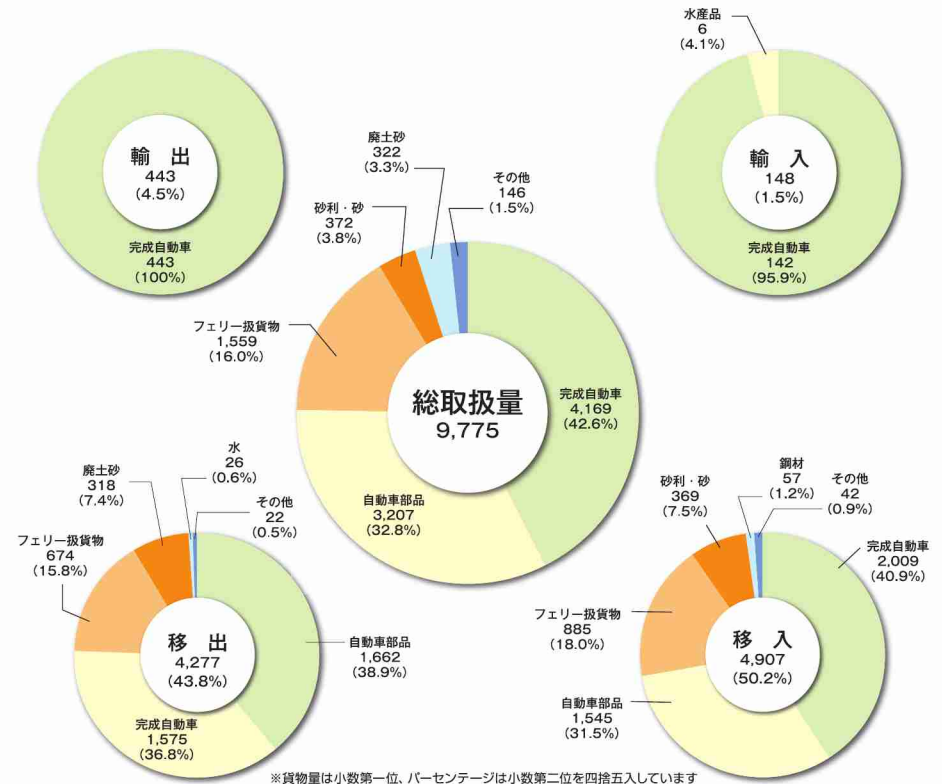
地区	輸移出	輸移入	計
追浜	3,266	3,755	7,021
長浦	41	141	182
新港	431	10	441
平成	3	135	138
久里浜	979	1,014	1,993
合計	4,720	5,055	9,775

※千トン未満を四捨五入しています



※貨物量は小数第一位、パーセンテージは小数第二位を四捨五入しています

### 取扱貨物品種の構成<平成29年> (単位: 千トン)





横須賀市は、「国際海の手文化都市」を都市像として掲げ、海に囲まれた特性を活かし、海を利用する人々の交流の拠点づくりを目指しています。現在、久里浜地区などでは定期航路が就航しています。

また、1年を通して多くの観光客が訪れ、豊かな自然や歴史的遺産を体感できる猿島や、艦船を間近に見ることができる軍港めぐりなど、人気スポットで四季折々の横須賀の港を楽しむことができます。



久里浜と千葉県金谷間11.5kmを約40分で結ぶフェリーです。  
 使用船舶（乗客定員）：かなや丸、しらは丸（680人）  
 乗用車：105台 バス：12台

● お問い合わせ先 東京湾フェリー-株久里浜支店  
 TEL 046-835-8855(代表) <http://www.tokyowanferry.com>



高速ジェット船で久里浜と大島を約60分で結びます（一部期間を除く）。利島、新島、式根島、神津島まで運航する期間もあります。  
 使用船舶（乗客定員）：セブンアイランド「菱」「虹」「友」「大漁」（254人）

● お問い合わせ先 東海汽船㈱お客様センター  
 TEL 03-5472-9999 <https://www.tokakisen.co.jp/>



新港（新三笠棧橋）と猿島を約10分で結んでいます。（12月～2月は土・日・祝日のみ運航）  
 使用船舶（乗客定員）：シーフレンドゼロ（236人）  
 シーフレンド1（152人）

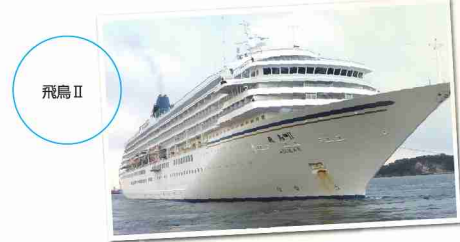
● お問い合わせ先 ㈱トライアングル TEL 046-825-7144(三笠営業所) <https://www.tryangle-web.com/>



本港地区内の軍港施設を約45分で周遊します。  
 使用船舶（乗客定員）：シーフレンド7（250人）



横須賀港の新港地区、久里浜地区には客船が寄港しています。船内見学会や市民クルーズなども実施され、多くの市民が港と親しめる機会となっています。



久里浜港は、新たな企業の進出やイベントの開催などにより、にぎわいが増してきたことから、平成30年7月にみなとオアシスに登録されました。ベリーゆかりの地から、登録名を「みなとオアシス「ベリー久里浜」」とし、代表施設の東京湾フェリー久里浜ターミナルを含む8施設が構成施設です。今後、久里浜地区では港を中心とした地域活性化が期待されます。



※みなとオアシスとは、海浜・旅客ターミナル・広場など、みなとの施設やスペースを活用して、地域振興活動が行われる交流拠点のごとて、国土交通省が登録しています。

久里浜地区



本港・新港地区





横須賀港内には、観音崎や猿島、走水海岸など、東京湾西岸では貴重となった自然海岸や緑地があります。このことは、東京湾内の他の港湾と比べ横須賀港の大きな特徴・財産です。横須賀港は、産業物流の場としての港湾と、自然豊かな環境に配慮した人々の憩いの場としての港湾の両立を目指しています。

また、横須賀港港湾環境計画では、地域の環境や特性に合わせて、横須賀港を「再生のエリア」、「活生のエリア」、「共生のエリア」の3つのエリアに区分するとともに、それぞれのエリアごとに基本方針を設定し、環境との共生を推進しています。

### 再生のエリア

～環境を修復するエリア～

(追浜地区～新港地区)の基本方針

- 企業、防衛施設等との調整により、水辺空間の開放を図ります。
- 近自然的な施設の整備等を進め、自浄機能や生物多様性の向上を図ります。
- 市民の海に対する関心を高め、エリア内の環境の再生を進めます。

### 活生のエリア

～環境資源の回復・活用を図るエリア～

(新港地区～走水地区)の基本方針

- 新港から走水に至る広く開放された水際線を持つ特色を活かし、近自然的な施設の整備等による海域環境の修復を図ります。
- 猿島、走水等を中心とした現存の海岸、植生・藻場等の維持・修復、歴史資産の保存を進め、生物多様性、レクリエーション等の環境における総合的な要請に応えます。
- 海に親しむ活動（環境学習、水遊び、散策等）の場として積極的に活用します。

### 共生のエリア

～自然と人の利用が共存するエリア～

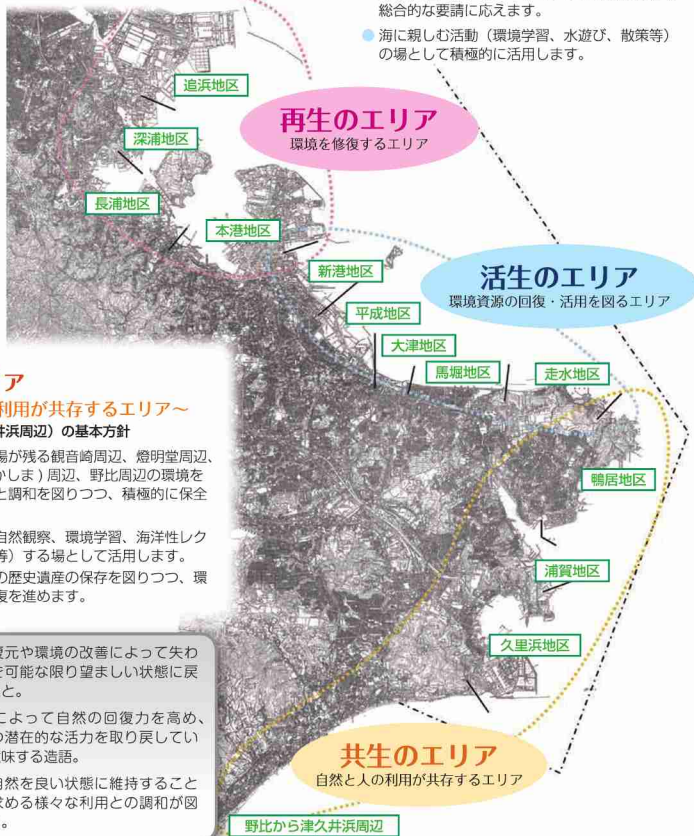
(走水地区～津久井浜周辺)の基本方針

- 自然海岸と藻場が残る観音崎周辺、燈明堂周辺、海鵜島（あしかしま）周辺、野比周辺の環境を港湾等の利用と調和を図りつつ、積極的に保全します。
- 自然を体感（自然観察、環境学習、海洋性レクリエーション等）する場として活用します。
- 浦賀、久里浜の歴史遺産の保存を図りつつ、環境の復元・修復を進めます。

※再生：近自然の復元や環境の改善によって失われた環境を可能な限り望ましい状態に戻していくこと。

※活生：環境修復によって自然の回復力を高め、海域の持つ潜在的な活力を取り戻していくことを意味する造語。

※共生：現存する自然を良い状態に維持することと、人が求める様々な利用との調和が図られること。



横須賀港は、1865年（慶応元年）に徳川幕府の勘定奉行の小栗上野介忠順とフランス人技師フランソワ・レオンス・ヴェルニーが、横須賀村に製鉄所（後に造船所）を建設を開始したことを開港の起源としています。1884年（明治17年）に横須賀鎮守府が設置されて以来、軍港として発展してきましたが、終戦後、旧軍港市転換法の施行により、横須賀市が「平和産業港湾都市」として新たな歩みを始めたのに合わせ、港は旧軍施設を転用し、緊急食糧の輸入・保管が行われるようになりました。

1948年（昭和23年）に貿易港としての指定を受けたのち、1951年（昭和26年）には、港湾法により、重要港湾（国際海上輸送網または国内海上輸送網の拠点となる港湾、国の利害に重大な関係を有する港湾）及び準特定重要港湾（国内産業開発上特に重要な港湾）に指定され、1953年（昭和28年）には、横須賀市が港湾管理者となりました。その後、2010年（平成22年）には、重点港湾（重点的に投資する「選択と集中」を港湾政策にも徹底するという目的で国土交通大臣が指定した港湾）に指定されました。

横須賀港関連		社会の動き
鎌倉、室町時代	浦賀・深浦が海運の港として活発に利用されていた走水は房総半島への渤海の地だった	
1607 (永禄 8)	このころから外国貿易が盛んになる	
1720 (享保 5)	浦賀奉行所設置	
1853 (嘉永 6)	ペリーが浦賀に来航、のち久里浜に上陸	
1865 (慶応元)	横須賀製鉄所建設 横須賀港開港	
1884 (明治17)	東海鎮守府が横浜から移転 横須賀鎮守府となる	1868 明治維新
1903 (明治36)	横須賀海軍造船所が横須賀海軍工廠となる	1889 国鉄横須賀線 (大船～横須賀) 開業
1907 (明治40)	横須賀市制施行	1905 日露戦争終戦
1915 (大正 4)	横須賀港開港50周年	
1925 (大正14)	安浦港竣工	
1937 (昭和12)	港湾計画策定	1918 第一次世界大戦終戦
1941 (昭和16)	横須賀軍港の副港として久里浜工事着手	1929 世界恐慌
1945 (昭和20)	終戦・港湾施設が接収される	1937 日中戦争開戦
1946 (昭和21)	長浦地区の接収施設の一部が返還され、緊急食糧受入港となる	1945 第二次世界大戦終戦
1948 (昭和23)	横須賀港が貿易港としての指定を受ける	
1951 (昭和26)	横須賀港が重要港湾及び準特定重要港湾の指定を受ける	1950 朝鮮戦争開戦
1953 (昭和28)	横須賀市が港湾管理者となる (長浦・久里浜地区に港湾事務所設置)	1951 日米安全保障条約調印
1960 (昭和35)	久里浜～金谷 (千葉県) 航路開設 (東京湾フェリー一線)	1957 世界初人工衛星打ち上げ成功
1965 (昭和40)	横須賀港開港100周年 久里浜ふ頭竣工	1964 東海道新幹線開業
1974 (昭和49)	新港ふ頭竣工 米ロサンゼルス港、ロングビーチ港と姉妹港提携	東京オリンピック開催
1982 (昭和57)	港湾計画改訂	東名高速道路開通
1992 (平成 4)	平成地区埋立竣工 海辺つり公園開園	大阪万博開催
1993 (平成 5)	港湾計画改訂	第一次オイルショック
1996 (平成 8)	らみかぜ公園開園 臨港道路小川三春線開通	1978 新東京国際空港 (成田空港) 開港
1998 (平成10)	久里浜1工区埋立竣工	1979 第二次オイルショック
1999 (平成11)	浦賀、鶴居地区埋立竣工	1982 東北・上越新幹線開業
2001 (平成13)	久里浜2工区埋立竣工	1990 国産花と緑の博覧会開催 (大阪)
2003 (平成15)	久里浜一大島航路開設 (東海汽船) 横須賀港港湾管理者50周年	1995 阪神・淡路大震災
2004 (平成16)	久里浜一大分航路就航 (関ジャトル・ハイウェイ・ライン) (平成19年廃止)	1997 京都議定書採択
2005 (平成17)	港湾計画改訂 港湾環境計画策定 馬堀海岸高潮対策護岸竣工	1998 長野オリンピック開催
2007 (平成19)	横須賀市制100周年	2000 九州・沖縄サミット
2008 (平成20)	久里浜3工区埋立竣工 大津1工区埋立竣工	2001 小泉内閣発足
2009 (平成21)	野比地区優良対策事業着手	2002 FIFAワールドカップ日韓大会開催
2010 (平成22)	本港地区埋立竣工 横須賀港が重点港湾の指定を受ける	2005 愛・地球博開催 (愛知)
2012 (平成24)	大津地区高潮対策事業着手	2008 世界金融危機 北海道洞爺湖サミット
2015 (平成27)	横須賀港開港150周年	2011 東日本大震災
2016 (平成28)	港湾計画・港湾環境計画 改定	2016 熊本地震 北海道新幹線 開業
2017 (平成29)	千葉中央～久里浜～鵜島開トライアル寄港実施	2018 大坂北部地震 西日本豪雨 北海道胆振東部地震
2018 (平成30)	久里浜地区「みなとオアシス」に登録	

# 横須賀港の施設の状況に関する資料集

※資料集内の表中の数値は、特段の表記のない場合は、2019年(平成31年)3月末時点のものです

## 1. 施設の状況

### 1 港湾区域

横須賀港の港湾法に基づく港湾区域は、横須賀市夏島町地先最北端(北緯35度19分49秒、東経139度38分26秒)の地点、同地点から63度50分2.470mの地点、同地点から46度30分1.450mの地点、観音埼灯台(北緯35度15分22秒、東経139度44分43秒)から90度1,000mの地点及び同地点から海嶺島燈標(北緯35度12分43秒、東経139度44分07秒)を見透し7,000mの地点を順次に結んだ線、同地点から290度に引いた線並びに陸岸により囲まれた海面で、その面積は55,250,000m<sup>2</sup>であり、海岸線の延長は61,000mである。

### 2 港湾区別

港区	面積 (m <sup>2</sup> )	港則法による境界	停泊すべき船舶
第1区	1,818,200	吾妻埼から119度に引いた線(以下A線という。)、荒三塚ノ鼻から240度に引いた線(以下B線という。))及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶及び係留施設に係留する場合における危険物を積載した船舶。ただし、雑種船は、沿岸付近に限る。
第2区	1,410,400	吾妻島北端から331度に引いた線(以下C線という。)、B線及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶及び係留施設に係留する場合における危険物を積載した船舶。ただし、雑種船は、沿岸付近に限る。
第3区	8,925,300	住友重機械横須賀製造所横須賀造船工場機装岸壁南端から東北防波堤西端まで引いた線、同防波堤、横須賀港東北防波堤東灯台(北緯35度19分09秒東経139度40分31秒)から北緯35度18分32秒東経139度41分58秒の地点まで引いた線、同地点(以下D地点という。))から215度に引いた線(以下E線という。)、A線、C線及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶及び係留施設に係留する場合における危険物を積載した船舶。
第4区	10,086,900	D地点から0度に引いた線(以下F線という。)、第3区境界線、港界線及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶及び危険物を積載した船舶。
第5区	21,858,400	観音埼灯台から90度に引いた線(以下G線という。)、E線、F線、港界線及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶。ただし、沿岸付近に限る。
第6区	4,560,800	千代ヶ崎から70度に引いた線、G線、港界線及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶。
第7区	6,590,000	第1区から第6区までを除いた港域内海面	各種船舶及び係留施設に係留する場合における危険物を積載した船舶。ただし、総トン数300トン未満の漁船及び雑種船は、沿岸付近に限る。

### 3 水域施設

#### a) 泊地

種別	地区	名称	面積 (m <sup>2</sup> )	水深 (m)
被覆内	長浦地区(第2区)	長浦2号泊地	293,000	-10.0
	本港地区(第1区)	本港1号泊地	217,000	-10.0
	浦賀地区(第6区)	浦賀2号泊地	20,250	-5.0
		浦賀3号泊地	101,550	-8.5
	久里浜地区(第7区)	久里浜2号泊地	40,778	-7.5
		久里浜3号泊地	68,222	-9.0
被覆外	追浜地区(第3区)	夏島泊地	229,100	-12.0
	長浦地区(第2区)	長浦1号泊地	102,900	-5.0
	新港地区(第3・5区)	新港泊地	593,700	-10.0
	浦賀地区(第6区)	浦賀1号泊地	239,130	-6.5
	久里浜地区(第7区)	久里浜1号泊地	476,200	-9.0
	久里浜地区(第7区)	久里浜A锚地B锚地	207,300	-35.0
		港外泊地	6,136,050	-9.0
	計		8,725,180	

#### b) 船だまり

地区	名称	面積 (m <sup>2</sup> )	水深 (m)
深浦地区(第2区)	深浦船だまり	114,000	-3.0
長浦地区(第2区)	船越船だまり	45,300	-4.4
	田浦船だまり	44,440	-4.4
長浦地区(第2区)	長浦ふ頭船だまり	38,080	-3.0
	本港地区(第1区)	吉倉船だまり	38,800
本港地区(第1区)	逸見船だまり	104,550	-5.0
	平成地区(第5区)	平成船だまり	42,056
浦賀地区(第6区)	東浦賀船だまり	32,550	-5.0
	西浦賀1号船だまり	14,950	-2.5
	西浦賀2号船だまり	14,410	-5.0
久里浜地区(第7区)	久里浜北船だまり	20,400	-4.5
計		509,536	

## 4 係留施設

### a) 岸壁、棧橋、浮棧橋 (-4.5m以上)

種別	地区	名称	延長 (m)	水深 (m)	接岸能力 (D/W)	船席
公共	追浜	夏島岸壁	120	-4.5	700	1
		新港	新港1号岸壁	200	-10.0	15,000
	新港	新港2号岸壁	200	-10.0	15,000	1
		新港3号岸壁	240	-4.5	700	4
		新港4号岸壁	65	-4.5	700	1
		新港1号棧橋	90	-5.5	2,000	1
		新港2号棧橋	90	-5.5	2,000	1
		新港3号棧橋	130	-7.5	5,000	1
	平成	平成1号岸壁	120	-4.5	700	2
		平成2号岸壁	270	-5.5	2,000	3
		平成突堤式棧橋	71	-6.5	-	-
		久里浜岸壁	220	-6.5	3,000	2
		久里浜1号岸壁	260	-7.5~-9.0	16,000G/T	1
	久里浜	久里浜2号岸壁	80	-5.0	1,000	1
		長瀬岸壁	140	-4.5	700	2
長瀬1号棧橋		26	-6.7	-	-	
計		2,322			22	

種別	地区	名称	管理者	延長 (m)	水深 (m)	接岸能力 (D/W)	船席
専用	追浜	住重追浜造船所機装岸壁	住友重機械工業㈱	656	-9.0	300,000	2
		住重追浜造船所水切岸壁	〃	60	-6.0	200,000	2
		海洋研究開発機構棧橋	国立研究開発法人 海洋研究開発機構	220	-8.0	8,687G/T	1
		日産1・2号棧橋	日産自動車㈱	435	-12.0	34,000G/T	2
		日産3・4号棧橋	〃	260	-7.5~-10.0	15,000	2
		日産5号棧橋	〃	90	-5.5	2,000	1
	日産6号棧橋	〃	185	-10.0	18,000	1	
	長浦	海上保安部5号浮棧橋	第三管区海上保安本部	60	-5.0	-	2
	本港	本港1号浮棧橋	㈱トライアングル	38	-4.8	-	2
	新港	シーボニア浮棧橋	㈱エスバルスドリームフェリー	20	-6.7	-	1
		サニーサイドマリナー岸壁	湘南サニーサイドマリナー㈱	100	-5.0	1,000	1
	浦賀	サニーサイドマリナー中突堤	〃	33	-5.0	700	1
		住重浦賀工場1号ドック岸壁	住友重機械工業㈱	50	-5.0	1,000	1
		住重浦賀工場東岸壁	〃	545	-6.5~-9.0	33,000	3
		住重浦賀工場機関機装岸壁	〃	60	-5.0	2,000	1
		東電B岸壁	東京電力フェユエル&パワー㈱	100	-5.0	1,000	1
	久里浜	東電C岸壁	〃	416	-9.0	10,000	2
		東電D岸壁	〃	282	-11.5	10,000	1
東京湾フェリー(株)1号棧橋		東京湾フェリー㈱	74	-5.5	3,580G/T	1	
東京湾フェリー(株)2号棧橋		〃	71	-5.5	3,580G/T	1	
計			3,755			29	

公共と専用の合計 延長 6,077m 船席 51席

b) 物揚場・棧橋・浮棧橋・船揚場(水深-4.5m未満)

施設別	施設数と延長		合計	
	施設数	延長 (m)	施設数	延長 (m)
公共用	物揚場	32	2,367	
	棧橋	12	314	
	浮棧橋	11	185	
	船揚場	13	1,015	
	計	68	3,881	
専用	物揚場	3	263	
	棧橋	5	205	
	浮棧橋	15	3,111	
	船揚場	2	219	
	計	25	3,798	
合計	93	7,679		

※米軍・防衛省、ポートパークを除く  
(平成30年(2018年)3月末時点)

c) 係留浮標 (公共用)

地区名	名称	最大係船能力 (トン)
長浦	N <sub>10</sub>	800
	N <sub>12</sub>	800

※ポートパークを除く

d) ポートパーク

地区名	名称	艇長 (m)	係留可能隻数
深浦	深浦ポートパーク浮棧橋	~12	99
	深浦ポートパーク係船浮標	-	20
浦賀	浦賀ポートパーク浮棧橋	~10.5	65

※設置組対策事業としてポートパークを整備

5 駐車場

区分	深浦ポートパーク駐車場		浦賀ポートパーク駐車場		うみかぜ公園駐車場		海辺つり公園駐車場	
	普通自動車	普通自動車	大型自動車	普通自動車	普通自動車	普通自動車	普通自動車	
台数	53	12	2	182		95		

6 荷さばき施設と保管施設

a) 荷さばき地

所在地	浦郷	深浦	長浦	新港	平成	西浦賀	長瀬	久里浜	合計
面積 (㎡)	1,902	591	5,989	17,372	30,568	2,919	17,822	17,153	94,316

b) 野積場

所在地	新港	久里浜	合計
面積 (㎡)	44,003	28,349	72,352

c) 上屋及び倉庫

種別	名称	所在地	経営者	棟数	総床面積 (㎡)	構造	
						主要用材	階数
上屋	公共	新港上屋	新港ふ頭	横須賀市	1	2,312	鉄骨鉄筋コンクリート 一部2階
倉庫	専用			民間	21	50,311	

7 給水施設 (公共用)

種類	給水場所	数量	摘要
水柱	長浦1号物揚場	1 栓	口径65ミリ
	新港1号棧橋	3 栓	"
	新港2号棧橋	2 栓	"
	新港3号棧橋	3 栓	"
	新港1号岸壁	4 栓	"
	新港2号岸壁	4 栓	"
	新港3号岸壁	2 栓	"
	新港4号岸壁	1 栓	"
	平成2号岸壁	3 栓	"
	浦賀物揚場	2 栓	"
	久里浜岸壁	4 栓	"
	久里浜1号岸壁	1 栓	"
	久里浜2号岸壁	1 栓	"

※経営者は横須賀市

8 港湾環境整備施設 (公共用)

種類	名称	延長又は面積
海浜 (m)	走水海浜	965
	観音崎海浜	190
	たたら浜	210
緑地 (㎡)	浦郷みなと緑地	2,715
	新港地区緑地	8,512
	うみかぜ公園	52,506
	平成地区緑地	12,433
	海辺つり公園	23,148
	西浦賀みなと緑地	6,298
その他 (㎡)	久里浜みなと緑地	2,789
	走水観音崎遊歩道	1,740

2. 港湾施設使用料

種類	使用料金			
岸壁・棧橋・物揚場	定期船	船舶の総トン数1トンごと	係留時間24時間までごとに	5円
	定期船以外の船舶	船舶の総トン数1トンごと	係留時間24時間までごとに	11円
係留浮標	総トン数 1,000トン未満	の船舶	係留時間24時間までごとに	4,830円
	総トン数 1,000トン以上	3,000トン未満	の船舶	係留時間24時間までごとに
上屋	新港	専用使用	1㎡までごとに	1月 770円
		一般使用	貨物搬入の日から15日まで	1㎡または1トンまでごとに 1日 17円
			貨物搬入の日から16日以後	1㎡または1トンまでごとに 1日 34円
荷さばき地	長浦港、浦賀港及び久里浜港(久里浜1号・長瀬)	専用使用	1㎡までごとに	1月 103円
		一般使用	貨物搬入の日から15日まで	1㎡までごとに 1日 4円
			貨物搬入の日から16日以後	1㎡までごとに 1日 7円
	新港、平成港及び久里浜港(久里浜2号・3号)	専用使用	1㎡までごとに	1月 167円
一般使用		貨物搬入の日から15日まで	1㎡までごとに 1日 6円	
		貨物搬入の日から16日以後	1㎡までごとに 1日 9円	
野積場	専用使用	1㎡までごとに	1月 167円	
	一般使用	貨物搬入の日から15日まで	1㎡までごとに 1日 6円	
			貨物搬入の日から16日以後	1㎡までごとに 1日 9円
船舶給水	5㎡まで			3,800円
	5㎡を超える1㎡までごとに			760円
ただし、執務時間外に船舶給水を行う場合は、その料金の額に5割を加算する。				
船舶給電	1キロワット1時間までごとに			81円